

令和5年度
全国学力・学習状況調査
特徴的な問題

― 校内研修及び授業に生かすために ―

令和5年5月

富山県教育委員会

「特徴的な問題」とは

教員による指導方法の改善や児童生徒の学習改善・学習意欲の向上等につながるよう、学習指導上特に重視される点や身に付けるべき力を具体的に示すメッセージとなる問題

◎ 「特徴的な問題」を、上記のような問題として取り上げました。

今、求められている「身に付けさせたい資質・能力」を理解し、学習指導の改善・充実を図ることができるよう、日々の授業や校内研修等でご活用ください。

【令和5年度版】 目 次

○	特徴的な問題	ページ
1	小学校「国語」	1
2	中学校「国語」	4
3	小学校「算数」	7
4	中学校「数学」	10
5	中学校「英語」	13
○	令和5年度全国学力・学習状況調査の傾向（児童生徒質問紙）	16
○	令和5年度全国学力・学習状況調査の傾向（学校質問紙）	18

1 小学校「国語」

(1) 国語 設問番号2四 複数の本や資料を読み、自分の考えをまとめる

学習指導要領の内容：5・6学年 C読むことオ

評価の観点：思考・判断・表現 問題形式：記述式

【出題の趣旨】 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる。

複数の資料を読んで分かったことを基に、自分ができそうなことを考えて書くことができるかどうかをみる問題

四 相田さんは、「資料1」、「資料2」、「資料3」を読み、運動と食事について分かったことをもとに、これから自分ができそうなことを考えてまとめようとしています。あなたなら、どのようにまとめますか。その内容を次の条件に合わせて書きましょう。

（条件）

- 資料を読んで、運動と食事の両方について分かったことを書くこと。
- 分かったことをもとに、これから自分ができそうなことを書くこと。
- 八十字以上、百字以内にまとめて書くこと。

※左の原稿用紙は下書き用なので、使っても使わなくてもかまいません。解答は、解答用紙に書きましょう。
※◆の印から書きましょう。どちらゆうで行を変えないで、続けて書きましょう。

The image shows a grid for writing answers. The grid is 10 columns wide and 20 rows high. A vertical line is drawn after the 8th column, and a horizontal line is drawn after the 10th row. The area to the left of the vertical line and below the horizontal line is labeled '80字'. The area to the left of the vertical line and above the horizontal line is labeled '100字'. A small diamond symbol is in the top right corner of the grid.

正答例

健康に過ごすためには、自分に合った運動をしたり、バランスのよい食事をとったりすることが大切だと分かりました。わたしは、これから、縄とびを続けて持久力を高めたり、苦手な野菜も食べたりしようと思います。（九十九字）

学習指導上の留意点

- 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができるようにする
文章の内容や構造を捉え、精査・解釈しながら考えたり理解したりしたことに基づき、
既有的知識等と結び付けて自分の考えを形成することが大切である。

指導のポイント

- ① 同じテーマについて書かれた本や新聞、インターネットから得た情報等を活用して、調べたり考えたりしたことを報告する活動等を設定する。
- ② 目的に応じて複数の文章を選んで読み、書かれていることを比較、分類、関連付けるなどして分かったことと、それらを基に考えたことをまとめる活動を取り入れる。
- ③ 文章を読んで理解したことについて、既有的知識や理解した内容と結び付けて自分の考えをまとめるよう指導する。

- (2) 国語 設問番号2三 複数の本や資料を読み、自分の考えをまとめる
 学習指導要領の内容：5・6学年 (2)情報の扱い方に関する事項イ
 評価の観点：知識・技能 問題形式：選択式

【出題の趣旨】 情報と情報との関係付けの仕方、図等による語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができるかどうかをみる。

資料の情報をどのように整理しているかについて理解しているかどうかをみる問題

2 相田さんの学級では、健康に過ごすために、複数の文章を選んで読み、自分ができそうなことを考えてまとめることにしました。次は、「相田さんの考え」と、相田さんが知りたいことを調べるために選んだ「資料1」、「資料2」です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【相田さんの考え】

ぼくは、運動の面から考えてみたい。運動をすると健康にどんないいことがあるのかな。

【資料1】運動について書かれた本の一部

運動は、体力の向上につながります。そのため、子供からお年寄りまで適度に運動をすることが大切だと言われています。私たちが日々行っている運動には、いくつかの種類があります。例えば、体にたくさん酸素を取り入れながら続けることで持久力を高める運動や、瞬間的に大きな力を出すことで筋肉の力を高める運動などです。生活の中に自分が好きな運動を取り入れれば、続けて取り組むことができます。その際は、目的に応じた運動を選ぶとともに、健康状態や体力に合わせて自分のペースで行うことが大切です。

3 相田さんは、食事の面から健康について考えている友達の話聞いて、「資料3」に興味をもちました。次は、相田さんが、四角や丸で囲んだり線をつないだりして整理している「資料3」です。相田さんは、一つ選んで、その番号を書きましよう。

1 自分にとって分からない言葉が四角や丸で囲み、運動と栄養素の働きとの関係を線をつないで整理している。

2 自分にとって重要な言葉を四角や丸で囲み、食品と栄養素の働きとの関係を線をつないで整理している。

3 自分にとって分からない言葉を四角や丸で囲み、食品と栄養素の働きとの関係を線をつないで整理している。

4 自分にとって重要な言葉を四角や丸で囲み、運動と栄養素の働きとの関係を線をつないで整理している。

【資料3】相田さんが書きこみをしたパンフレットのページ

栄養素の働き

規則正しく食事をとることで、脳が活発に働いたり、元気に運動したりすることができます。ただし、同じものばかり食べたりしていると、栄養がたまってしまったり、つかれやすくなったりいらいらしたりします。

食品は、栄養素の主な働きによって、下のように、主に三つのグループに分けることができます。

米やパンなどは、主にエネルギーのもとになります。

肉や卵などは、主に体をつくるもとになります。

野菜や果物などは、主に体の調子を整えるもとになり、病気をかきにくくします。

【栄養素の主な働きと食品の例】

主にエネルギーのもとになる

米、パン、バターなど

主に体をつくるもとになる

肉、卵、牛乳など

主に体の調子を整えるもとになる

野菜、果物など

【資料2】運動について書かれたパンフレットのページ

運動で健康な体をつくろう！

運動には、筋力や持久力を高めるほかに、病気のリスクを高める効果もあります。また、運動によって気持ちがリフレッシュするなどの効果もあります。

どんな運動をするの？

運動をする際、自分に合った運動を選んで行うことが大切です。主な運動の種類には、下のように、軽いジョギングなどの持久力を高める運動や、腹筋運動などの筋力を高める運動があります。そのほかにも、体のやわらかさを高める運動や、たくさん動きを高める運動などがあります。

このような運動は日常生活の中にもあります。例えば、休みの日の散歩、犬の散歩、階段の上下り下り、荷物運びなどです。日常生活の中で体を動かす機会をつくると効果的です。

主に持久力を高める運動の例

主に筋力を高める運動の例

軽いジョギング 縄とび(縄でとぶ) 腹筋運動 肩立てふせ

相田さん

学習指導上の留意点

- 図等による語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができるようにする
- 図示等により語句と語句の関係を表すことを通して、考えをより明確なものにしたり、思考をまとめたりすることを理解することが大切である。

指導のポイント

- ① 読む目的を明確にし、文章の中から必要な情報を取捨選択したり、整理したり、再構成したりするなど、目的に応じて必要な情報を見付けさせる。
- ② 複数の語句を丸や四角で囲んだり、語句と語句を線をつないだりするなど、図示することによって情報を整理する活動を取り入れる。

(3) 国語 設問番号3一 学校ボランティアにインタビューをする

学習指導要領の領域等：3・4学年 A話すこと・聞くことエ

評価の観点：思考・判断・表現 問題形式：選択式

【出題の趣旨】 必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉えることができるかどうかをみる。

聞いた事柄を基に分からない点や確かめたい点を適切に質問することができるかどうかをみる問題

〈関連する問題と正答率〉

平成24年度小学校A2(県70.0% 国65.2%) 令和4年度1三(県85.4% 国84.7%)

3 谷さんの学級では、学校ボランティアの人たちを全校にしようかいつにするために、自分の相手を決めてインタビューをすることにしました。次は、「谷さんの考え」と「インタビューの権子」です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【インタビューの様子】（一部抜粋）

山本さん 子供たちから、「いつも見守ってくれてありがとう。」と声をかけてもらうことがあり、そんなときは元気が出てきます。町で出会った保護者の方が「いつもありがとうございます。」と言ってくださることもあり、やりがいを感じています。

谷さん アやりがいというのは、ボランティアをやっているよかったですよ。

山本さん はい、そのとおりです。ボランティアをやっていると本当によかったと思っています。子供たちの安全を守るために、役に立っていると感じられるので、大変さよりもやりがいのほうが大きいです。

谷さん なるほど。そうなのですね。

寺田さん 私も子供たちが安全に登下校している様子を見るとうれしくなり、やりがいを感じます。子供たちのすてきな姿を見たときには、さらにうれしい気持ちになります。ボランティアをしてよかったです。

谷さん イすてきな姿というのは、どのような姿ですか。

寺田さん 一人で下校する友達に声をかけている姿や、上級生が下級生の手を引いて歩いている姿などです。そんな姿を見ると、とてもうれしい気持ちになります。

一 「インタビューの権子」で、谷さんが、部アと部イのように質問した理由について、次の(1)と(2)の問いに答えましょう。

(1) 谷さんが、部アのように質問した理由として最も適切なものを、次の1から4の中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

1 相手の活動の予定を、より具体的に知るため。
2 相手の話の内容を、より具体的に知るため。
3 自分の理解が正しいかどうかを相手に確かめるため。
4 自分の行動が可能かどうかを相手に確かめるため。

(2) 谷さんが、部イのように質問した理由として最も適切なものを、次の1から4の中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

1 相手の活動の予定を、より具体的に知るため。
2 相手の話の内容を、より具体的に知るため。
3 自分の理解が正しいかどうかを相手に確かめるため。
4 自分の行動が可能かどうかを相手に確かめるため。

正答 2

正答 3

学習指導上の留意点

- 必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えをもつことができるようにする

目的に応じて必要な内容を記録したり、聞いた事柄を基に分からない点や確かめたい点等、必要なことを質問したりしながら聞くことが大切である。

指導のポイント

- ① どのような目的で聞くのか、自分が聞きたいことは何かなどをよく確かめさせ、自分が聞きたいことの中心を明確にして聞くことができるようにする。
- ② 聞いたことを発表する機会等を設け、記録したことや質問したことが十分なものだったかどうか、聞いたことを基に自分の考えをまとめたり表現したりする際に確認させる。

1 中学校「国語」

(1) 国語 設問番号2四 説明的な文章を読む(本の読み方)

学習指導要領の内容：2 学年 (3) 我が国の言語文化に関する事項エ C読むことオ
 評価の観点：知識・技能 思考・判断・表現 問題形式：記述式

【出題の趣旨】 文章を読んで理解したこと等を知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができるかどうかをみる。

自分がこれからどのように本を読んでいきたいかについて、読んだ文章を参考にして、知識や経験に触れながら書くことができるかどうかをみる問題

<p>2 中山さんは、本の読み方について考えるために、【A】と【B】の文章を読んでいます。これらを読んで、 考え。</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%; padding-right: 10px;"> <p style="text-align: center;">【A】</p> <p style="text-align: center;">※文章の内容については、調査問題をご覧ください。</p> <p style="text-align: center;">(岸見一郎『本をどう読むか』による。)</p> </div> <div style="width: 45%; padding-left: 10px;"> <p style="text-align: center;">【B】</p> <p style="text-align: center;">※文章の内容については、調査問題をご覧ください。</p> <p style="text-align: center;">(小林秀雄「読書について」による。)</p> </div> </div>
<p>四 中山さんは、【A】や【B】の文章で述べられていることを参考にして、自分の本の読み方について考えました。あなたなら、 これからどのように本を読んでいきたいと考えますか。次のア、イについて、それぞれの指示にしたがって書きなさい。 なお、読み返して文章を直したときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。</p>	<p>ア 【A】か【B】、またはその両方の文章から、自分が着目したところを抜き出しなさい。</p> <p>イ アを踏まえ、読書に関する経験や知識に触れながら、これからどのように本を読んでいきたいかを具体的に書きなさい。</p>
<p>正答例</p> <p>ア 両方 自分は前に読んだ時とは違っている 文は人なり</p> <p>イ 好きな作家の本を再読することが時々あり、同じ作品でも、印象が変わることがあった。それに加えて、今後は、作家の性格や個性を探りながら読んで、新しい発見ができたらいと思う。</p>	

学習指導上の留意点

- 文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、新たな視点をもって自分の考えを広げたり、深めたりできるようにする
 自分の考えを広げたり深めたりするためには、観点を明確にして複数の文章を比べながら読んだり、理解したことや考えたことを自分の知識や経験と結び付けたりすることで、物事に対する新たな視点をもつことが大切である。

指導のポイント

- ① 文章を読んで理解したことや考えたことに関連する知識や経験を想起させる。
- ② 観点を明確にして複数の文章を比べながら読み、他者の考えやその根拠、考えの道筋を捉え、自分の考えと対比する場を設定する。
- ③ 文章を読んで理解したことや考えたことを、説明したり、文章にまとめたりする活動を取り入れる。

(2) 国語 設問番号4三 古典を読む（「竹取物語」）

学習指導要領の内容：1学年 C読むことエ

評価の観点：思考・判断・表現 問題形式：記述式

【出題の趣旨】 文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることができるかどうかをみる。

現代語で書かれた「竹取物語」のどこがどのように工夫されているかについて、古典と比較して書くことができるかどうかをみる問題

4

石井さんは、国語の時間に、「竹取物語」を読みました。そのあと、学校図書館で、現代語で書かれた「竹取物語」を見つけ、読み比べてみました。次は「授業で読んだ「竹取物語」の一部」の（原文）とその（現代語訳）、「学校図書館で見付けた「竹取物語」の一部」です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【授業で読んだ「竹取物語」の一部】

（原文）

今は昔、竹取の翁といふものありけり。野山にまじりて竹を取りつつ、よろづのことに使ひけり。名をば、さめきの遊あそびとなむいひける。その竹の中に、もと光る竹なむ一筋ありける。あやしがりて、寄りて見るに、筒の中光りたり。それを見れば、三寸ばかりなる人、いとうつくしうてゐたり。

（現代語訳）

今ではもう昔のことだが、竹取の翁という者がいた。野や山に分け入って竹を取っては、いろいろなことに使っていた。名前を、さめきのみやつこといった。その竹の中に、根もとの光る竹が一本あった。不思議に思っ、近寄って見ると、筒の中が光っている。それを見ると、三寸ほどの人が、とてもかわいらしい様子で座っている。

【学校図書館で見付けた「竹取物語」の一部】

※文章の内容については、調査問題をご覧ください。

（星新一『竹取物語』による。）

三

【学校図書館で見付けた「竹取物語」の一部】は、古典の作品である「竹取物語」に、作家の星新一が工夫を加えて現代語で書いたものです。どこがどのように工夫されていると考えられますか。【授業で読んだ「竹取物語」の一部】や【学校図書館で見付けた「竹取物語」の一部】の表現を取り上げて、あなたの考えを書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

正答例 「よろづのこと」を「笠、竿、杖、籠、筆、箱、筒、箸」というように具体的に書いて、翁が竹でどのようなものを作っていたのかが分かるようにしている。

学習指導上の留意点

○ 根拠を明確にして、文章の構成や展開、表現の効果について考えることができるようにする

作品を読み比べる場面では、叙述に基づき、自分の考えを支える根拠を明確にして、文章の構成や展開を捉えてその意図や表現の効果を考えることが重要である。

指導のポイント

- ① 文章全体や部分における構成や展開を把握し、その意図や表現の効果を自分なりに考える場を設定する。
- ② 叙述に基づき、自分の考えを支える根拠となる段落や部分を明確にして、構成や展開、表現の効果について自分の考えを書いたり、発表したりする活動を取り入れる。
- ③ 文章の展開の仕方や表現の効果について、根拠となる部分を挙げて客観的に説明することができるように、詩、俳句、短歌、小説等取り上げる教材を工夫する。

(3) 国語 設問番号3三 レポートを書く（「判じ絵」）

学習指導要領の内容：2 学年 (2) 情報の扱い方に関する事項ア

評価の観点：知識・技能 問題形式：短答式

【出題の趣旨】 具体と抽象等、情報と情報との関係について理解しているかどうかをみる。

レポートの見出しを付けた部分について、内容のまとまりで文章が二つに分かれる箇所を選択し、後半のまとまりに付ける見出しを書くことができるかどうかをみる問題

三 山田さんは、「■「判じ絵」とは何か」と見出しを付けた文章のまとまりで二つに分け、後半のまとまりには分けた内容と合う見出しを付けることにしました。分ける箇所として最も適切なものを、(ア) から (オ) までの中から一つ選びなさい。また、後半のまとまりに付ける見出しを考えて書きなさい。

「判じ絵」について 山田 光一

1. はじめに
学校図書館の本で、「判じ絵」というものがあることを知った。「判じ絵」には具体的にどのようなものがあるのか、また、「判じ絵」がいつ生まれ、どのように現代に伝わったのかに興味をもち、詳しく調べることにした。

2. 調査方法
学校図書館、地域の図書館、インターネットで情報を集めた。

3. 調査結果

■「判じ絵」とは何か
「判じ絵」とは、描かれている絵や記号などが何を意味しているかを解読して楽しむものである。


(ア) ただし、【図1】のように、描かれているもの

(イ) 言葉の意味しているものが異なるため、解読する際には、「判じる」こと、つまり、知っていることをもとに「おし量って考える」が必要になる。

(ウ) また、「判じ絵」の起源を調べたところ、平安時代後期から行われていた「ことば遊び」だと考えられていることが分かった。


(エ) そして、江戸時代に庶民の間に広まる中で様々なものが生まれ、浮世絵ともつながりの深い文化として定着していったという。

(オ) さらに明治に時代が移っても、人々の娯楽として親しまれ、現代でも雑誌の挿絵やテレビのクイズ番組などで見ることができる。



【図1】サル

■「判じ絵」の解読の面白さ
「判じ絵」の解読の仕方について、具体的に例を挙げて説明する。



【図2】スズメ

【図2】は、鈴の絵に目が描かれている。描かれているものを組み合わせて解読すると、鳥の「スズメ」という意味になる。

【図3】

【図3】は、

正答例
(分ける箇所) ウ
(見出し) 「判じ絵」の歴史
「判じ絵」の起源と広がり

3 下書きの一部
山田さんは、国語の時間に、言葉に関して興味をもったことをレポートにまとめています。次は、山田さんが書いているレポートの「下書きの一部」です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

学習指導上の留意点

- 自分の考えが伝わるような文章になるよう、意見と根拠、具体と抽象等、情報と情報との関係に注意して文章を整えることができるようにする
意見を裏付けるためのより適切な根拠の在り方や、具体と抽象は状況や必要に応じて使い分けられていることを理解することが大切である。

指導のポイント

- ① 「B 書くこと」の指導事項に示された内容との関連を図りながら、生徒が日常の書く活動に生かすことを意識しながら学習できるようにする。
- ② 具体的な事例を抽象化してまとめたり、抽象的な概念について具体的な事例で説明したりする場を設定する。

2 小学校「算数」

(1) 算数 設問番号 3(2) 日常の事象を数理的に捉え数学的に表現・処理すること（分配法則）

学習指導要領の領域等：3 学年 A 数と計算(5)ア(イ)

4 学年 A 数と計算(4)ア(エ)イ(ア)

評価の観点：思考・判断・表現 問題形式：記述式

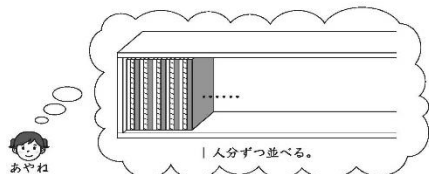
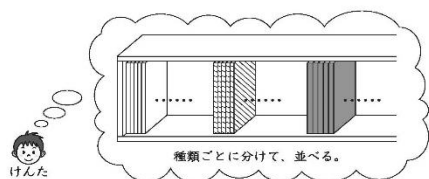
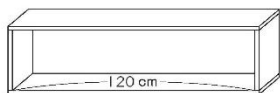
【出題の趣旨】 示された日常生活の場面を解釈し、小数の加法や乗法を用いて、求め方と答えを式や言葉を用いて記述し、その結果から条件に当てはまるかどうかを判断できるかどうかをみる。

数量の関係に着目して問題場面を解釈し数学的に表現・処理したり、計算に関して成り立つ性質を基に計算の仕方を考えたりすることができるかどうかをみる問題

3(2)

けんたさんの学級では、1人が3種類のファイルを1冊ずつ使うことになりました。それぞれのファイルの厚さは、1.4cm、1.6cm、2cmです。けんたさんの学級の人数は23人です。

下のような、はば120cmのたなに、ファイルを全部並べて入れることができるかどうかを考えています。



3種類のファイル23人分を全部並べた長さは、何cmですか。全部並べた長さの求め方を、式や言葉を使って書きましょう。また、答えも書きましょう。

さらに、たなにファイルを全部並べて入れることができるかどうかを、下の1と2から選んで、その番号を書きましょう。

- 1 入れることができる。
- 2 入れることができない。

〈正答の条件〉

次のA又はB又はCのいずれかで、それぞれ①②の全てを書き、答えを115と書いて番号を1と選んでいる。

A①一人分のファイルの長さを求めること

A②一人分のファイルの長さを用いて、ファイル23人分の長さを求めること

B①ファイルの種類ごとに23人分の長さを求めること

B②それぞれのファイル23人分の長さの合計を求めること

C①2種類のファイル23人分の長さを求めることと、残りの1種類のファイル23人分の長さを求めること

C②2種類のファイル23人分の長さとして残りの1種類のファイル23人分の長さの合計を求めること

正答例

【求め方】 1人分のファイルの長さを求め、その23人の長さを求めると、 $(1.4 + 1.6 + 2) \times 23 = 115$ で、115cmです。

【答え】 115(cm)

【番号】 1

学習指導上の留意点

- 日常生活の場面を式に表すことを通して、問題の解決に式を用いることができるようにする問題場面の数量の関係に着目したり、計算の結果を振り返ったりすることで、計算に関して成り立つ性質に気付いたり、計算の仕方について捉え直したりすることが大切である。

指導のポイント

- ① 身の回りに多くある小数で表された量を合わせたり、差を求めたりする場面を捉え、小数やその計算を日常生活で生かす活動を設定する。
- ② これまで学習で使用してきた具体物、図、数、式、表やグラフ等を活用して問題を解決し、その結果を確かめるだけでなく、それを発展的に考察する活動を位置付ける。

(2) 算数 設問番号4(3)

目的に応じてデータの特徴や傾向を読み取ったり捉えたりすること（運動調べ）

学習指導要領の領域等：3学年 Dデータの活用(1)ア(イ)イ(ア)(8)

評価の観点：思考・判断・表現 問題形式：記述式

【出題の趣旨】 示された棒グラフと、複数の棒グラフを組み合わせたグラフを読み、見いだした違いを言葉と数を用いて記述できるかどうかをみる。

日常生活の問題を解決するために、目的に応じて、表やグラフからデータの特徴や傾向を捉えることができるかどうかをみる問題

〈関連する問題と正答率〉

平成30年度小学校B3(1)(県26.9% 国20.7%)

4

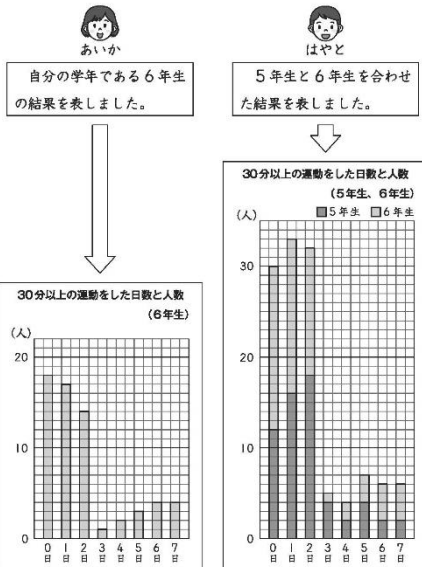
(3) あいかさんたちは、5年生と6年生に運動カードを配って調べた結果をポスターにのせるために、30分以上の運動をした日数と人数をグラフに表すことにしました。



どちらのグラフも「0日」、「1日」、「2日」の人数が多いということが同じですね。



でも、2つのグラフをくわしく見ると、ちがうところもありますね。



あいかさんたちは、左の2つのグラフをもとに、気づいたことについて話し合っています。

そこで、あいかさんたちは、日数に着目して、2つのグラフのちがうところを、次のようにまとめました。

【「0日」についてまとめたこと】

「0日」に着目すると、次のようちがいががあります。
6年生のグラフでは「0日」の人数が1番目に多く、5年生と6年生を合わせたグラフでは「0日」の人数が3番目に多いです。

【「0日」についてまとめたこと】と同じように、「1日」に着目してまとめると、どのようになりますか。

下の□の中に、「6年生のグラフ」、「5年生と6年生を合わせたグラフ」、「番目」の3つの言葉と数を使って書きましょう。

【「1日」についてまとめたこと】

「1日」に着目すると、次のようちがいががあります。

※ 解答は、すべて解答用紙に書きましょう。

〈正答の条件〉
次の①、②の全てを書いている。

- 30分以上の運動をした日数が「1日」の人数について、6年生のグラフでは、2番目に多いことを表す言葉と数
- 30分以上の運動をした日数が「1日」の人数について、5年生と6年生を合わせたグラフでは、1番目に多いことを表す言葉と数

正答例

6年生のグラフでは「1日」の人数が2番目に多く、5年生と6年生を合わせたグラフでは「1日」の人数が1番目に多いです。

学習指導上の留意点

○ データを整理する観点に着目し、身の回りの事象について表やグラフを用いて考察して、見いだしたことを表現することができるようにする

目的に応じて、示された複数のグラフから、データの特徴を捉え考察したり、見いだしたことを表現したりすることが大切である。

指導のポイント

- 身の回りの様々な事象における、解決したい問題に応じて定めた観点によって、データを表に分類整理したり、グラフにまとめたりすることで特徴や傾向を捉え考察する活動を取り入れる。
- 表やグラフから特徴や傾向を捉えたり、考察したりしたことを、表やグラフのどの部分から考えたのかをほかの人にも分かるように伝え合う活動を取り入れる。その際、部分と部分や、複数のグラフを比べ、共通点や相違点等を表現できるようにする。

- (3) 算数 設問番号 **2** (3) 図形の構成の仕方を観察して図形について判断すること(テープ)
 学習指導要領の領域等：3 学年 B 図形(1)ア(ア)
 5 学年 B 図形(1)ア(イ)

評価の観点：知識・技能 問題形式：短答式

【出題の趣旨】 正三角形の意味や性質について理解しているかどうかをみる。

図形の観察や構成等の活動を通して、図形の性質について考察し、示された図形の角の大きさを求めることができるかどうかをみる問題

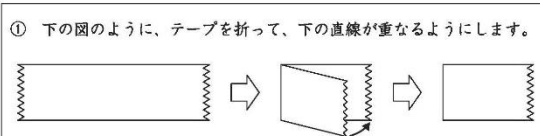
〈関連する問題と正答率〉

平成 27 年度小学校 B **3** (2) (県 52.2% 国 49.1%)

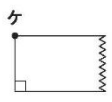
2 (3) えいたさんたちは、下のようにつくり方で三角形をつくります。

【えいたさんのつくり方】

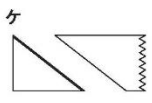
① 下の図のように、テープを折って、下の直線が重なるようにします。



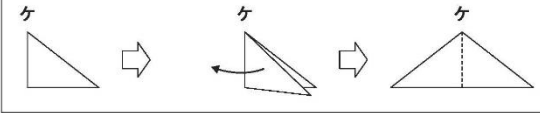
② 右の図のように、折り目のはしを点ケとします。



③ 折って重ねたまま、点ケを通るななめの直線で切ります。

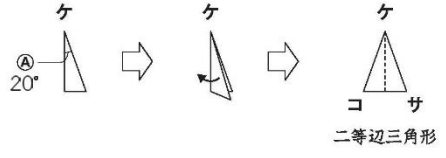


④ 開くと三角形ができました。



ゆいなさんとわたるさんは、【えいたさんのつくり方】の③の図で、下の④の角の大きさをそれぞれちがう大きさにしました。

わたし
ゆいな 私は、④の角の大きさを 20° にしました。切って開いた三角形ケコサは、二等辺三角形になりました。



わたし
わたる 私は、切って開いた三角形を正三角形にするために、④の角の大きさをゆいなさんとちがう大きさにして切りました。

切って開いた三角形を正三角形にするには、④の角の大きさを何度にすればよいですか。
 答えを書きましょう。

正答
30

学習指導上の留意点

- 図形を構成する要素の関係に着目し、辺の長さの相等や角の大きさの相等に着目して、正三角形や二等辺三角形の意味や性質について理解することができるようにする
 二等辺三角形や正三角形の意味や性質を理解するには、定規やコンパスによる作図、ひご等による構成、紙を折るなどの活動を豊かに行うことを通して、帰納的に理解できるようにすることが大切である。

指導のポイント

- ① 二等辺三角形では、二つの角の大きさが等しいことや、正三角形では、三つの角の大きさが等しいことについて、二等辺三角形や正三角形を観察したり、実際に紙を切り抜いて作った三角形を折ってみたりするなどの活動を通して確かめるようにする。
- ② 事柄が成り立つことの根拠を、図形の性質を基に考え、説明する活動を取り入れる。その際、どのような性質と条件を用いればよいのか話し合ったり、説明の不十分な点について考え、よりよい説明に表現し直したりできるようにする。

・参考：解説資料 平成27年度P. 63～68

4 中学校「数学」

(1) 数学 設問番号 8 (3) 日常的な事象の数学化と問題解決の方法 (駅伝)

学習指導要領の領域等：2 学年 C 関数 (1) イ (イ)

評価の観点：思考・判断・表現 問題形式：記述式

【出題の趣旨】 事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができるかどうかをみる。

日常生活を考察する場面において、事象を理想化・単純化して、その特徴を的確に捉え、事象を数学的に解釈し、説明することができるかどうかをみる問題

〈関連する問題と正答率〉

平成 28 年度中学校 B 3 (3) (県 38.9% 国 30.3%)

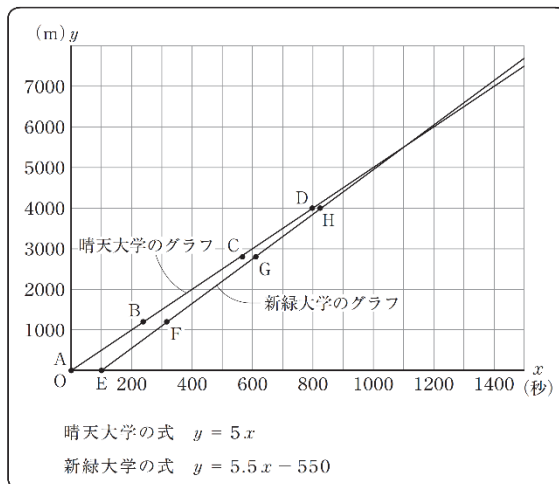
平成 31 年度中学校 6 (2) (県 41.8% 国 34.7%)

8 (3) 新緑大学が晴天大学に追いつくのが、6 区のスタート地点からおよそ何 m の地点になるのかを考えます。下のア、イのどちらかを選び、それを用いておよそ何 m の地点になるのかを求める方法を説明しなさい。ア、イのどちらを選んで説明してもかまいません。また、実際に何 m かを求める必要はありません。

ア 晴天大学のグラフと新緑大学のグラフ

イ 晴天大学の式と新緑大学の式

コンピュータを使って表された直線のグラフと式



〈正答の条件〉

アを選択し、次の (a) について記述しているもの、又は、イを選択し、次の (b) について記述しているもの。

- (a) グラフの交点から、 y の値を読み取ること。
- (b) 方程式を解いて、 y の値を求めること。

正答例

〈アを選択した場合〉

- ・ 晴天大学のグラフと新緑大学のグラフについて、2 つの直線のグラフの交点から y 座標を読み取り、スタート地点からおよそ何 m の地点で追いつくのかを求める。

〈イを選択した場合〉

- ・ 晴天大学の式と新緑大学の式について、2 つの式から連立方程式をつくり、それを解いて y の値を求め、スタート地点からおよそ何 m の地点で追いつくのかを求める。

学習指導上の留意点

- 数学的に表現したことを事象に即して解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができるようにする

日常生活や社会の事象を数学的に考察する場面において、問題解決のアプローチの方法や手順を説明することが大切である。

指導のポイント

- ① 日常の事象を理想化・単純化して、一次関数等とみなして問題解決を図る活動を取り入れ、日常の事象や社会の事象、数学の事象には、関数関係として捉えられるものが数多く存在することを実感できるようにする。
- ② 他者と協働的に問題を解決したり、問題解決の過程を自ら振り返ったりする上で、方法や手順を的確に記述したり伝え合ったりする活動を取り入れる。
- ③ 「用いるもの」(表、式、グラフ) を明確にした上で、その「用い方」(交点の座標を読み取るなど) を表現する活動を取り入れる。

(2) 数学 設問番号 7 (2)

データの傾向を読み取り、批判的に考察し判断すること (黄葉日)

学習指導要領の領域等 : 2 学年 D データの活用 (1) イ (ア)

評価の観点 : 思考・判断・表現 問題形式 : 記述式

【出題の趣旨】 複数の集団のデータの分布の傾向を比較して捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができるかどうかをみる。

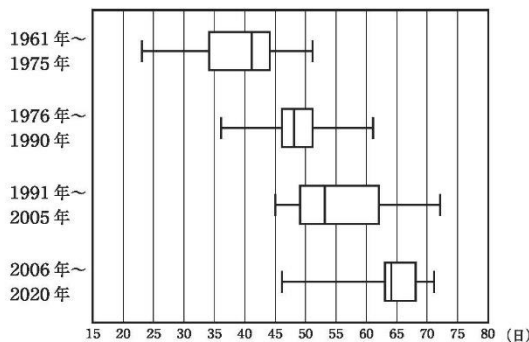
日常生活や社会の事象を考察する場面において、表やグラフなどからデータの傾向を適切に読み取り、判断の理由を数学的に説明することができるかどうかをみる問題

7 (2) 二人は、前ページの箱ひげ図を見て、話し合っています。

一花さん「4つの箱ひげ図を見ると、黄葉日はだんだん遅くなっている傾向がありそうだね。」
 啓太さん「でも、1991年～2005年と2006年～2009年の箱ひげ図は、右端と左端が同じくらいの位置にあるよ。遅くなっているといえるのかな。」
 一花さん「確かに箱ひげ図の右端と左端についてはそうだけど、箱に着目すれば、2006年～2009年の黄葉日は、1991年～2005年の黄葉日より遅くなっている傾向にあるといえるのではないかな。」

前ページの箱ひげ図を見ると、一花さんのように「2006年～2009年の黄葉日は、1991年～2005年の黄葉日より遅くなっている傾向にある」と主張することができます。そのように主張することができる理由を、1991年～2005年と2006年～2009年の2つの箱ひげ図の箱に着目して説明しなさい。

黄葉日までの経過日数の分布



〈正答の条件〉

次の(a)、(b)、(c)のいずれかと、(d)について記述しているもの。

- (a) 1991年～2005年の箱ひげ図の箱よりも2006年～2009年の箱ひげ図の箱の方が右側にあること。
- (b) 1991年～2005年の第1四分位数よりも2006年～2009年の第1四分位数の方が大きく、1991年～2005年の第3四分位数よりも2006年～2009年の第3四分位数の方が大きいこと。
- (c) 1991年～2005年の第3四分位数よりも2006年～2009年の第1四分位数の方が大きいこと。
- (d) 2006年～2009年の黄葉日は、1991年～2005年の黄葉日より遅くなっている傾向にあること。

正答例

1991年～2005年の箱ひげ図の箱よりも2006年～2009年の箱ひげ図の箱の方が右側にある。したがって、2006年～2009年の黄葉日は、1991年～2005年の黄葉日より遅くなっている傾向にある。

学習指導上の留意点

- データの傾向を適切に読み取って判断したことを数学的な表現を用いて説明することができるようにする

ある事柄が成り立つ理由を数学的に説明する際には、説明の対象となる成り立つ事柄を明確にした上で、その根拠を指摘することが大切である。

指導のポイント

- ① 日常の事象を題材とした問題を取り上げ、それを解決するために必要なデータを収集し、コンピュータ等を利用してデータを整理し、四分位範囲を求めたり、箱ひげ図で表したりして複数の集団のデータの傾向を比較して読み取り、その結果を基に説明する一連の活動を取り入れる。
- ② 「○○であるから、△△である。」のような形で、「根拠 (○○)」と、「成り立つ事柄 (△△)」を明確にする活動を取り入れる。
- ③ データの傾向を捉える場合に、箱ひげ図のみを用いて説明するだけでなく、必要に応じてヒストグラム等と合わせて用いることが必要な場面もあることに留意する。

(3) 数学 設問番号9(2)

平行線や角の性質を基に、図形を考察すること（合同な2つの三角形と平行線）

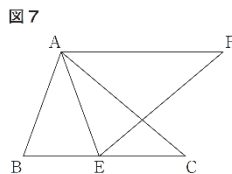
学習指導要領の領域等：2 学年 B 図形(2)ア(イ)イ(ア)

評価の観点：知識・技能 問題形式：短答式

【出題の趣旨】 条件を変えた場合に事柄が成り立たなくなった理由を、証明を振り返って読み取ることができるかどうかをみる。

図形の性質を考察する場面において、問題解決の過程を振り返って本質的な条件を見いだすことができるかどうかをみる問題

9 (2) 優奈さんは、前ページの方法2の直線BCと直線AFが平行になるかどうかを調べるために、次の図7をかきました。図7の△ABCと△AEFは、それぞれCA=CB、FA=FEで、△ABC≡△AEFです。この図において、優奈さんはBC//AFであることを証明することにしました。

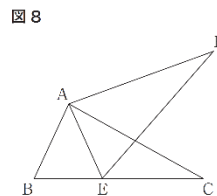


BC//AFであることは、次のように証明できます。

証明1

△ABC≡△AEFより、合同な図形の対応する辺と角はそれぞれ等しいから、
 $AB = AE$ ……①
 $\angle ABC = \angle AEF$ ……②
 △AEFにおいて、二等辺三角形の底角は等しいから、
 $\angle EAF = \angle AEF$ ……③
 ②、③より、
 $\angle ABC = \angle EAF$ ……④
 また、①より、△ABEは二等辺三角形である。
 二等辺三角形の底角は等しいから、
 $\angle ABE = \angle AEB$ ……⑤
 $\angle ABE = \angle ABC$ だから、④、⑤より、
 $\angle EAF = \angle AEB$
 よって、錯角が等しいから、
 $BC // AF$

次に、優奈さんは、19ページの図1の2つの三角形を△ABC≡△DEFであることは変えずに、二等辺三角形ではない三角形に変えました。この場合も方法2でひいた2つの直線が平行になるかどうかを確かめたところ、2つの直線は平行になりませんでした。なぜ平行にならなくなったのかを調べるために、次の図8をかきました。図8の△ABCと△AEFは二等辺三角形ではなく、△ABC≡△AEFです。



優奈さんは、図8でBC//AFとならないのは、前ページの証明1の④から⑤のどれかが成り立たないからだと考えました。図8のような二等辺三角形ではない合同な2つの三角形の場合には、 $\angle EAF = \angle AEB$ とならないため、BC//AFとなりません。このことは、証明1をもとに、次のように説明することができます。

二等辺三角形ではない合同な2つの三角形の場合には、証明1の I が成り立たないから、 II が成り立たない。よって、 $\angle EAF = \angle AEB$ とならないから、BC//AFとならない。

上の I には証明1の①、②、③のどれか1つが、 II には証明1の④、⑤のどちらか1つが当てはまります。 I、 II に当てはまるものをそれぞれ書きなさい。

正答 I に ③ と解答し、II に ④ と解答しているもの。

学習指導上の留意点

- 証明を読むことを通して、論理的に考察し表現することができるようにする。
 証明の学習においては、証明を書くとともに、証明を読み、証明を評価・改善したり、証明をもとに発展的に考えたりすることが大切である。

指導のポイント

- ① 図形の性質について、推論の過程が異なる二つの証明を読んでその相違点を見付けたり、推論の過程に誤りのある証明を読んでそれを指摘し改めたりするなど、証明を評価・改善する活動を取り入れる。
- ② 証明に用いた前提や証明の根拠、結論を整理するなどして証明を振り返り、条件を変えたり、逆を考えたりするなど、発展的に考察する活動を取り入れる。

1 中学校「英語」

- (1) 英語 設問番号8 (2) 短い文章の要点を捉えて、考えとその理由を書く
学習指導要領の領域等：書くこと ウ

評価の観点：思考・判断・表現 問題形式：記述式

【出題の趣旨】 社会的な話題に関して読んだことについて、考えとその理由を書くことができるかどうかをみる。

読んだことについて、考えたことや感じたこと、その理由等を、簡単な語句や文を用いて書くことができるかどうかをみる問題

〈関連する問題と正答率〉

- ・平成31年度8 (県 13.7% 国 10.9%)


- 8 英語の授業で、ブラウン先生が作成した文章が学習者用端末に送信されました。これを読んで、以下の問いに答えなさい。

- (2) ブラウン先生の質問に対するあなたの考えと理由を英語で簡潔に書きなさい。

正答例

- ・I agree with you. If robots do our housework, we will have more time.
- ・I don't agree with you because people will lose their job.

Today we see many kinds of robots around us. They are helpful. When I went shopping, I saw a robot and it was working as a guide. I could talk to the robot in English or other languages. At some restaurants, robots bring our meals. They can carry many plates at one time. Thanks to them, the restaurant doesn't need a lot of staff members. We have robot pets, too. We can have them even if we are busy with work or we live in small apartments. People will have fun if they live with robot pets. As I explained, robots can change many people's lives for the better. Do you agree with me? Why or why not?



学習指導上の留意点

- 社会的な話題に関して読んだことを基に、その内容に関する自分の意見や感想等を書くことができるようにする

社会的な話題に関して読んだ内容に主体的に関わりをもち、それを踏まえて、内容に関する感想、賛否や理由等を書くことが大切である。

指導のポイント

- ① 社会的な話題について書かれた文章を読んで収集・整理した複数の情報を取り出して総合的に把握し、内容に対する感想や賛否、理由等を書くなど、領域間の統合的な言語活動を工夫する。
- ② 環境問題や自然との共存等、社会的な話題に関連する他教科等での学習内容を活用し、それらを話題として実際の生活において必要な場面を想定した言語活動を通して、自分の意見や感想等を深め、「書くこと」に取り組むようにする。

- ・参考：中学校学習指導要領解説外国語編(H29.7) P. 28～29 P. 60～61 P. 68～69

(2) 英語 設問番号 10 まとまりのある文章を書く

学習指導要領の領域等：書くこと イ

評価の観点：思考・判断・表現 問題形式：記述式

【出題の趣旨】 日常的な話題について、事実や自分の考えなどを整理し、まとまりのある文章を書くことができるかどうかをみる。

事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができるかどうかをみる問題

〈関連する問題と正答率〉 平成 31 年度中学校英語 10(県 1.8% 国 1.8%)

10 あなたの学校では、学校の英語版ウェブサイトを公開しています。あなたは、そのサイトに学校紹介文を掲載することになりました。学校生活（行事や部活動など）の中から紹介したいものを 1 つ取り上げ、それについて説明するまとまりのある文章を 25 語以上の英語で書きなさい。

※ 短縮形（I'm や don't など）は 1 語と数え、符号（, や ? など）は語数に含めません。

(例) No, I'm not. 【3 語】

正答例 Our school has a school festival in October. In the festival, we have a chorus contest and we practice hard to win the gold prize. Many people come to listen to our songs.

学習指導上の留意点

○ 自分が伝えたいことや情報、考えたことや感じたこと等を明らかにし、それらを整理した上で、内容的にまとまりのある文章を書くことができるようにする

文と文の順序や相互の関連に注意を払い、全体として一貫性のある文章を書けるようにするとともに、よりよく読み手に伝わるよう意識しながら、自分の言いたいことに最もふさわしい表現形式を工夫して書けるようにすることが大切である。

指導のポイント

- ① 生徒が関心をもっている身近な話題や生徒の体験等と関連付け、意欲的に書く機会を増やす。
- ② 具体的に関心が高く、想起しやすいものをテーマに設定し、簡単な語句や文を用いて、日記等の形式によって、英文を書く機会を増やす。
- ③ 出来事等を説明するために必要な基本的な語彙や表現に親しむ機会を、「聞くこと」「読むこと」「話すこと」の活動を通して多く与え、「書くこと」の活動につなげる。
- ④ キーワードを整理して書くことや、5W1Hを意識しながら全体の構想を考えて書くこと、文と文のつながりを示す語句を効果的に用いながら書くことができるように指導する。
- ⑤ 教科書に取り上げられている話題に関する自分の意見や感想等を、スピーチの形式や、新聞やホームページ等への投稿文の形式で書いたり、ディベートの立論形式に則って書いたりする活動を取り入れる。

・参考：中学校学習指導要領解説外国語編(H29.7) P.27～28 P.67～69

(3) 英語 設問番号 4 短い説明の要点を捉える

学習指導要領の領域等：聞くこと ウ

評価の観点：思考・判断・表現 問題形式：選択式

【出題の趣旨】 社会的な話題について、短い説明の要点を捉えることができるかどうかをみる。

はっきりと話されれば、社会的な問題について、短い説明の要点を捉えることができるかどうかをみる問題

4 (放送問題)

あなたのクラスは、シンガポールにある姉妹校の生徒たちと、オンラインで地域の課題について意見交換をしています。これから、姉妹校の生徒であるジェニーの話聞くところです。ジェニーが最も伝えたいことを、下の1から4までの中から1つ選びなさい。

- 1 There isn't enough water in Singapore.
- 2 Doing something to save water is important.
- 3 I take showers for only five minutes each time.
- 4 One of my friends uses rain water for the plants in his room.

スクリプト

Hi, I'm Jenny. Today, I'm going to share our ideas about a water problem in our country. There isn't enough water in Singapore. My classmates and I talked about this problem at school. We all said, "We cannot do something big, but doing something to save water is important for even junior high school students." For example, I take showers for only five minutes each time. Also, I turn off the water when I brush my teeth. One of my friends uses rain water for the plants in his room. We are all trying to do something to save water. What do you think?

正答 2

学習指導上の留意点

- 社会的な話題に関する説明を聞き、特に中心となる事柄等の話の大切な部分を捉えることができるようにする

一つの話題に沿って話される首尾一貫した内容を最初から最後まで聞き、話し手が最も伝えたいことは何であるかを判断して捉えることが大切である。

指導のポイント

- ① 日常的な話題や社会的な話題に関する会話や説明等を聞いて、全体的な内容を理解したり、大切な部分を正確に捉えたりするとともに、聞き取ったことについて友達と説明し合ったり、理解したことを基に意見交換を行ったりする活動を設定する。
- ② 話の要点を捉えるには話し手の最も伝えたいところはどこかなどを考えながら、会話や説明等を聞くように促す。

・参考：中学校学習指導要領解説外国語編 (H29.7) P. 19 P. 19～20 P. 57～58

令和5年度全国学力・学習状況調査の傾向 児童生徒質問紙(小学校・中学校)

1 本年度の特徴と関連する質問

○学びに向かう力、人間性等

- 児童生徒が分かる喜びを実感できるよう、指導技術の向上、指導方法や指導体制などの工夫改善が図られているかどうかを問う質問が再掲(6)
- 児童生徒が日常生活の中で、幸福感を抱くことがどれくらいあるかを問う質問が新設(15)

○GIGAスクール構想の推進

- 「ICT機器を活用した学習状況」の調査項目において、学校の授業時間以外での使用を問う質問内容に変更
 - ・一人一台端末の普及により、これまでの「スマートフォンやコンピュータ」という表記から「PC・タブレット」に変更となり、「学校の授業時間以外」に限定してICT機器を活用する使用頻度を問う質問 小(31)、中(35)

○豊かな心を育成する学習習慣、学習環境の充実

- 休憩時間や休日における児童生徒の自主的、自発的な学習活動や読書活動の充実について問う質問が2問再掲
 - ・学習塾や家庭教師の先生との学習について問う質問(19)
 - ・昼休みや放課後、学校が休みの日に、学校図書館や図書室、地域の図書館を使用する頻度を問う質問(21)
- 部活動の参加についての質問が新設、再掲
 - ・部活動への参加の有無や平日における活動時間を問う質問 中(25)、(27)
 - ・平日と休日それぞれの部活動の活動時間を問う質問 中(26)、(28)

○教科横断的な視点をもった指導

- 教科横断的な視点をもって、幅広い学習の場面で活用できる力の育成が図られているかを問う質問が再掲 小(38)、中(42)

○国際社会に生きる人間としての望ましい能力や態度の育成

- 「地域や社会に関わる活動の状況等」の調査項目を充実し、2問の質問が再掲
 - ・国際感覚をもち、国際的視野に立ちながら世界と日本との関わりについて考え、日本人としての自覚をもって文化の継承・発展・創造に貢献する態度を問う質問 小(27)、(28) 中(31)、(32)

○学習に対する興味・関心や授業の理解度等

- 小学校国語、中学校国語ともに令和4年度の調査でみられた課題を反映しており、

昨年度の調査や結果が授業改善に生かされているかどうかを具体的に問う質問が新設

- ・「立場や違いを意識して」「自分とは違う意見を生かして」「友達と伝え合い、自分のよいところを見付ける」等の推敲や共有についての力が身に付いているかどうかを問う質問が新設 小(47)～(50)
- ・自分の考えを伝えるために、効果的な話し方を工夫する力や根拠を明確にするために資料から引用した文章を書く力を身に付けているかどうかを問う質問が新設 中(51)～(54)

→算数・数学の学習についての質問が4問削減

→英語の学習についての質問が小学校で3問新設、中学校で1問新設、13問再掲

- ・「将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいか」等の質問 小(56)、(57)、(59)
- ・「授業で学習したことを普段の生活の中で活用しているかどうか」「ICT機器をどの程度活用して音声を聞いたり話したりしているか」「英語で自分たちの意見を述べ合ったり、考えをまとめたり書いたりしているかどうか」等の質問 中(59)～(72)

○その他

- ・「友達と協力することの楽しさ」から、より幅広い意味をもつ「友人関係に満足しているかどうか」を問う質問に変更(14)
- ・ICT機器の具体的な活用場面についての使用頻度を問う質問が削減
- ・地域の方々との交流や放課後、休日の過ごし方についての質問が削減

2 参考

→小学校は、59問で、昨年度の69問より10問削減

- ・算数や理科の学習に関する質問(全13問)が削減された影響が大きい

→中学校は、72問で、昨年度の69問より3問増加

- ・英語の学習に関する質問(全14問)、部活動に関する質問の増加による影響が大きい

令和5年度全国学力・学習状況調査の傾向 学校質問紙（小学校・中学校）

1 本年度の特徴と関連する質問

○児童生徒の学習の把握を通して、指導の改善に生かすため

- 「個別最適な学び・協働的な学び」について問う質問が新設
- ・学習指導において、児童生徒一人一人に応じた学習課題や活動の工夫(質問 31)
 - ・児童生徒が、それぞれのよさを生かしながら、他者と情報交換して話し合ったり、異なる視点から考えたり、協力し合ったりできるような学習課題や活動の工夫(質問 32)
- 「国語科の指導方法」
- ・自分と相手との間に好ましい関係を築き、継続させる等言葉の働きに気付くことができるような指導(質問 小42)
 - ・互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、異なる意見を自分の考えに生かして考えをまとめることができるような指導(質問 小43)
 - ・互いの書いた文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けることができるような指導(質問 小44)
 - ・登場人物の人物像や物語の全体像を具体的に想像し、表現の効果を考えて読むことができるような指導(質問 小45)
 - ・行書の基礎的な書き方を理解して書くことができるような指導や点字指導(質問 中42)
 - ・自分の考えを分かりやすく伝えるために、聞き手の立場に立って効果的な話し方を工夫することができるような指導(質問 中43)
 - ・自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にするために必要な情報を資料から引用して書くことができるような指導(質問中 44)
 - ・文学的な文章を読み、場面の展開や登場人物の心情の変化などについて、描写を基に捉えることができるような指導(質問 中45)
- 「英語科の指導方法」
- ・英語の授業以外にも児童生徒が英語に触れる機会の設定頻度についての質問
(質問 小50、中58)
 - ・家庭学習の課題(宿題)として、児童生徒にPC・タブレット等のICT機器を使用して英語の学習をどの程度行わせているかについての質問(質問 小51、中59)

○学校における働き方改革の推進

- 「ICT機器を活用した校務の効率化の状況」について問う質問を新設
- ・ICT機器を活用した校務の効率化の優良事例の十分な取り込み(質問 16)
 - ・クラウドを活用した校務の効率化(クラウドサービスを活用した保護者への連絡や、アンケートの実施、教職員等会議のオンライン化等)への取組(質問 17)
 - ・保護者や地域の人との協働による取組(学校の美化、登下校の見守り、学習・部活動支援、放課後支援、学校行事の運営等)による教員の業務負担軽減への効果(質問 小73、中81)

○ICTを活用した学習状況

- 児童生徒の特性等に合わせた「ICT機器を活用した」学習課題や場面、学習支援
- ・児童生徒が自分の特性や理解度・進度に合わせて課題に取り組む場面(質問 小60、中68)
 - ・外国人児童生徒に対する学習活動等の支援(質問 小64-3、中72-3)
 - ・児童生徒の心身の状況の把握(質問 小64-4、中72-4)
 - ・児童生徒に対するオンラインを活用した相談・支援(質問 小64-5、中72-5)

- ・障害のある児童生徒が一人一人に配備された PC・タブレット等の ICT機器を活用する際、入出力支援装置※等を活用し、障害種・障害の状態や特性及び心身の発達の段階等に応じた支援の実施（質問 小65、中73）

※ 障害により情報機器端末の入出力自体に困難を抱えた児童生徒のための支援装置（例：音声読み上げソフト、点字ディスプレイ、音声文字変換システム、視線入力装置、ボタンマウス、ブレススイッチ等）

○その他

- ・日本語指導が必要な児童生徒数を問う質問が新設（質問7）

2 参考

- ・小学校は昨年度より1問減り81問に、中学校は昨年度より9問増え89問となった。
- ・「個に応じた指導」について、学習指導だけでなく心身の状況についても問うなど幅広い視点からの質問が増えた。
- ・昨年度に本調査とは別に問われた「新型コロナウイルス感染症の影響に関する項目」が、本年度は、本調査の1つの項目として取り入れられた。